

授業科目名	【G】 【H】	教養演習Ⅰ・Ⅱ 教養演習Ⅰ・Ⅱ	区分 選択必修	開講年次 【H】2	【G】2 【H】2	単位数 【H】2	【G】2 【H】2						
科目区分	基本科目												
授業形態	対面授業												
担当形態	単独												
施行規則に定める科目区分又は事項等													
サブタイトル	歴史学研究－古文書学と歴史学－			担当者	田中 秀典								
授業概要	概要	日本史の研究に不可欠である史料を読むために必要な、くずし字解読の初步的な内容について演習を行う。また、それと併せて、各自の興味関心に応じて、日本の歴史について研究する(対象とする時代を近代、分野を政治に限定するつもりであるが、特に希望があればそれ以外の時代・分野、日本以外の国についても含める。)。受講生の発表と議論を中心に進めるが、人数配分の都合などによってはテキストの輪読等を行うことも考えている。											
	到達目標	研究に必要な史料を、自分である程度読めるようになる。 日本の政治(特に近世から近現代)について、その概要を歴史学的に説明できるようになる。 歴史学の学問方法を身につけ、自分で研究していくようになる。											
履修条件	日本史、歴史学という学問に関心があること。												
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク					
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ					
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他					
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)											
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)											
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)											
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)											
他科目との関連	政治経済史Ⅱ、特殊講義(日本政治外交史)、日本法制史Ⅰ・Ⅱ、日本史概論、歴史学概論を履修していることが望ましい。												
教科書	受講者の興味関心によって、近世文書の簡単なもの、あるいは新書1冊程度を指定するつもりである(近世文書については法制関係のものを考えているが、もし他の時代を希望する声があれば、古い時代なら『古事記』、『日本書紀』、戦国期なら『依田記』(『蘆田記』)、近現代なら政治家の日記もしくは書簡を扱うことも考えたい。新書については、特に問題がなければ、坂野潤治『明治憲法史』をと考えている。)。												
参考書	『くずし字解読辞典』[机上版]、『くずし字用例辞典』[普及版](ともに東京堂出版)など。その他、適宜紹介する。												
評価方法	授業への参加度(50%)、発表や課題など(50%)を総合的に評価する。												
フィードバック方法	発表等に対してコメントする。												
評価基準	授業に出席するのみならず積極的に参加し、課題を達成するとともに、学習した内容をよく理解した者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、出席、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、所定の出席要件を満たさない場合などは「F」とする。												

授業 科目名	【G】 【H】	教養演習Ⅰ・Ⅱ 教養演習Ⅰ・Ⅱ	区分 選択必修	開講年次 【G】2 【H】2	単位数 【G】2 【H】2
授業内容	<p>I 古文書学演習 ・古文書の基礎知識 ・辞書の使い方 ・身近なところで目にするくずし字 ・くずし字の基礎 ・史料を読む</p> <p>II 歴史学の基礎 ・歴史と歴史学 ・歴史学の研究とは</p> <p>III 発表のしかたを確認する ・テーマを決める ・資料(史料)を調べる ・内容を検討する ・レジュメを作成する ・発表する ・議論する</p> <p>IV 各自の発表と討論</p> <p>V 状況に応じてテキストを輪読する</p> <p>〈アクティブラーニング〉 この科目は演習科目であるので、受講生の発表と議論、あるいは作業が中心となる。 よって、自主的に、主体的に、積極的に、自ら、進んで発表の準備や課題に取り組み、議論に参加する姿勢が求められる。</p>				
予習内容	<p>発表のための事前準備(調べもの、レジュメ作成など)</p> <p>授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>				
復習内容	<p>不明点などの再検討</p> <p>授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。</p>				
その他	<p>授業を休まず、かつ遅刻せずに出席して、発表の準備や課題に積極的に取り組み、進んで議論に参加すること。</p> <p>※Gカリ:【Iは選択必修(A)・IIは選択必修(B)】</p>				